

論点② 薬剤師の居宅療養管理指導費の算定間隔等の見直し

論点②

- 令和8年度診療報酬改定において、在宅患者訪問薬剤管理指導料については、「算定する日の間隔を6日以上とする要件」を廃止し、週1回算定可能とされた。
- 介護保険における居宅療養管理指導については、算定する日の間隔を6日以上とすることとされている。このため、毎週定期的な訪問を行っている場合であっても、祝日や利用者都合等により中6日以内に訪問日を変更した場合には算定できないケースが生じている。
- また、利用者の病状変化等に伴い、月の途中で麻薬調剤や無菌製剤処理等の高度な薬学管理等への対応のため薬局変更が必要となる場合の取扱いが必ずしも明確でないとの指摘がある。
- 利用者の状態変化に応じた適時・適切な薬学的管理及び薬物療法の継続的な支援を確保するとともに、医療保険と介護保険との整合性を図る観点から、薬剤師の居宅療養管理指導に係る取扱いについてどのような対応が考えられるか。

対応案

- 居宅療養管理指導等に係る規定のうち、「算定する日の間隔を6日以上」とする要件について、利用者の状態変化等に応じた適時・適切な薬学的管理を推進するとともに、医療保険と介護保険との整合性を図る観点から見直しを行ってはどうか。
- あわせて、利用者の病状変化等に伴い、麻薬調剤や無菌製剤処理等の高度な薬学管理等への対応のため薬局変更が必要となる場合の取扱いについて、利用者への継続的かつ適切な薬学的管理を確保する観点から必要な整理を行ってはどうか。